

館報
いりやま

令和3年6月1日現在

世帯数	854戸
男	921人
女	963人
総人口	1,884人

花の寄せ植え講座 大盛況!

開催に向けて

入山辺公民館では、毎年行われている花の寄せ植え講座が今年も開催された。多くの方にご参加いただき、定員20名のところ、19名の応募があり、多くの方が、参加した。縦30cm、横70cmほどの鉢に、好きな花を5株選び、配置や彩りを意識しながら、楽しまれていた。

参加者は「コロナウイルスの影響で顔を合わせる事が少なかったため、たくさんの方とお話できて、とても嬉しかった。寄せ植えもきれいでできて、満足している。」と喜んでいました。

講師によるアドバイスも!

今回の寄せ植え講座では、百瀬清子さん・日野一彦さんを講師に招き、寄せ植えをする上でのポイントを伺った。ポイントは主に2つ。1つ目は、花の選び方を意識する



寄せ植えを笑顔で楽しむ2人

こと。花の主役と脇役のバランスを考慮する。また、同色系で揃えたり、反対色をあえて組み合わせるなどの、色のバランスを考へることも寄せ植えの重要なポイントである。2つ目は、配置のバランスを計算に入れること。花には背丈や、大きさがバラバラで、その種類は多種多様。そのため、サイズによって、配置のバランスを計算すると、素敵な作品が出来上がる。こういったポイントが踏まえ、多くの方が、個性あふれる作品を作っていた。

消防団だより ～ 第18分団紹介 ～

日頃より、入山辺地区の皆様におかれましては、私ども第18分団並びに団員に、暖かいご支援、ご理解、ご協力を賜りまして、心より感謝しております。

赤澤分団長 以下56名にて、現在消防団の活動を行っております。

歴史的には入山辺村の時代から、70年近く受け継がれてきた伝統ある組織です。今も受け継がれる「郷土愛」と「入山辺地区の皆様への生命財産を守る」志は先輩方から受け継がれる消防の心構えです。

また、消防活動は昼夜問わず、火災、災害出動、行方不明者捜索など、厳しい面もありますが、仲間同士の励ましや、先輩・後輩と関わり合いの中で育まれる絆など、自分だけでは気付かない事も、若いながらも次第に気づき、育まれていると思います。

訓練や機械・消火栓点検など休日に消防団活動を行うこともありますが、その中で培う仲間との絆は、一生ものであることは大先輩方が証明しています。

各部の紹介をします。
本部三役は、赤澤分団長



活動の様子① 「大雨警戒時側溝に詰まったゴミの除去」

(三城)、百瀬副分団長(包石)、中野副分団長(厩所)

自動車部は柳澤部長以下10名
第1部は平林部長以下6名
第2部は中澤部長以下8名
第3部は原山部長以下8名
第4部は大輪部長以下11名
第5部は阿部部長以下10名

今年度は4部に1名新入団員が入団しました。しかし、71名に対し、現在のところ欠員が15名の状態です。広大な地域を守る為に設定された定員ですが、若い担い手がなかなか集まらないのが、消防団全体の悩みです。

あまり難しい事はありません。地域の仲間として、また消防団組織を媒体とし、地域への貢献と、地元の仲間との絆を結んでみましょう。頼もしい仲間と共に、入山辺を盛



活動の様子② 「ポンプ車取扱講習」

り上げてみませんか。
本年はコロナウイルス感染拡大防止のため、分団規模以上の訓練は自粛していますが、各部ごとに機械点検及び訓練を行い、万が一の出動に備えています。
最近の出動状況としましては、2月に住宅火災での出動がありました。当入山辺地区においては、他の地域と比べ出動回数は少ない地域です。これも、地域の皆様の協力があっての事です。
団員を毎年募集しております。女性消防団員も歓迎します。
団員募集については、各部長又は、本部三役まで連絡を下さい。
(赤澤分団長・中澤部長)

町内公民館長会 視察研修 松本城と水巡りツアー開催！

前日の大雨が上がり、晴れて蒸し暑くなった6月5日、4月から新たに公民館長になられた方もいることから、親睦を兼ね10名が参加して、視察研修が行われました。

本年は「松本城と水巡りツアー」最初に市の担当者である小山淳一さんの案内で松本城見学。松本城は、現存する五重六階の天守の中で日本最古の国宝の城です。世界遺産の登録を目指しています。

小山さんには丁寧案内していただき、興味深い話を聞くことができました。

松本城を後に、引き続き小山さんの案内で、松本城の北にある、北馬場柳の井戸から水巡りがスタート。

片端に出て、普段絶対に歩く事のないような狭い路地を、軒と軒との間を縫うように進み、四柱神社、中町を経て市民に利用されている名水の源智の井戸、松本市の水源地のひとつになっている源池の水源地井戸等20ヶ所以上を見学。いかに松本の街が、水源が豊富でそれが市民の生活の一部になっていることを実感しました。

最後は、市街地で唯一の酒蔵「善哉酒造」の敷地内にある女鳥羽の泉を見ました。残念ながらコロナ禍であり、工場見学はできませんでしたが、お酒を購入して帰宅の途につきました。

身近すぎてなかなか行く機会がない場所ですが、松本の文化と歴史に触れた視察研修でした。

(会長 木下政久)



松本城をバックに、記念撮影をする町内公民館長さんたち。



みんなつながる「田んぼのわプロジェクト」

こんな山辺にするじゃん会の食農振興グループでは、2013年から昔ながらの手植えや、雑草取りの田車など人力で作業をしています。もち米を育てて収穫し、最後はおこわやお餅つきをして食べる「田んぼのわプロジェクト」に取り組んでいます。

今年もコロナ禍のなか、感染拡大防止策に取り組みながら5月16日に田植えを実施しました。この日はあいにくの雨模様でしたが、地区内外から23名が参加し、手植えをしました。「手植えなんてことも

の時代以来だから何十年ぶりだろう」と話す参加者も、体が覚えているのかすいすいと植えていました。

6月12日には田車という手押し式の農機具を使って草取りも実施しました。テンポよく前後させながら押し進まない泥の中に埋まってしまいい、参加者の皆さんは苦戦されていました。

半分ほど終わるとコツツつかみだしてスムーズに進んでいました。入山辺地区外から参加された親子はオタマジャクシを追いかけながらゆつく

りと進んでいました。

これからは2回目の田車を使った草取り、鎌を使って稲刈り、そして収穫したもち米でおこわやお餅の振る舞いを予定しています。詳細については、入山辺地区カレンダー、こんな山辺にするじゃん会HP「するじゃん新聞」、フェイスブックやTwitterでご確認ください。

参加ご希望の方は入山辺地区地域づくりセンター、こんな山辺にするじゃん会事務局TEL32-1389までご連絡ください。皆さんのご参加お待ちしております！

田車を使った草取り体験



学校の生活



山辺小学校 6年生 木下元史君

最近学校で気を付けていること
最近よくが学校で気を付けていることは3つあります。

1つ目は外で遊ぶことです。外でたくさんサッカーをして体を動かし、体がなまらないようにしています。外で遊ぶことは、とても楽しいので、雨が降った日は、テンションが下がりますが、遊んでいるときは、楽しいのでみんなも遊んでみてください。

2つ目はろう下歩行です。ろう下歩行をしないと、角を曲がってきた人におつかつてしまします。ですが、ろう下歩行をしているとよけられたり、ぶつかつても、衝撃を抑えられます。みなさんもろう下歩行に注意してみてください。

3つ目は友達関係です。友達と仲良くすることは、良いことだし、仲間が増えらると、生活が楽しくなります。

みなさんも、どこかで気を付けていることは、ありませんか？これで終わります。

